

練馬区議会議員(無所属)

かとうき桜子

区政レポート



2018年6月号

(議会報告通号 Vol. 119)

〒178-0063 練馬区東大泉 3-1-18-102
電話 03-3978-4154 FAX03-3978-4158
HP <http://www.sakurako-nerima.com/>
メール sakurako_happy_society@yahoo.co.jp



メールマガジン発行中!

練馬区議会の定例会/ラ・プラスの新たなスタート



●この「ウイズタイムハウス」は、地域の人も集えるような開かれたスペースになることを目指しています。

6月3日に行なったラ・プラス新装オープンでは、ウイズタイムハウスの前でバザーを行ったり、タコスを食べ楽しんで、お茶の先生をされていた方も来てくださったお抹茶をいただいたりと、のんびりと楽しい時間を過ごしました。

7月1日には七夕イベントを開きます。午後(1時~3時)バザー、3時からピアノ演奏。また、8月5日はお子さんも楽しんでいただけるような夏らしい催しをしたいと考えています。ぜひお立ち寄りください。

【場所】大泉学園町4の30の20 ウイズタイムハウス大泉学園

●練馬区議会の定例会が6月11日から練馬区議会の定例会が始まりました。今回の定例会の議案は、例えば今年4月の障害者制度改正で始まった新しい事業を区立の障害者施設で実施することなど、27議案が出ています。

二〇一八年六月

かとうき 桜子

介護の現場で働く人のお話を聞く勉強会

今年は定期的に、介護の現場で働く人のお話を聞く勉強会を行なっています。

1回目(1月)には、ケアマネジャー、ヘルパー、看護師、薬剤師、特養の相談員、福祉用具のレンタルをしている事業者の人などから、普段どんなお仕事をしているのかをお聞きしました。

2回目(5月)には、ケアマネジャーさんから、例えば要介護2ならどういうケアプランが想定されるのか、シミュレーションして考えてみるという会をしました。

今後の日程をご案内します。企画は継続していますが、各回に初めてご参加くださる方もたくさんいらっしゃいます。初参加でも分かるお話をしますので、是非お気軽にお越しください。(無料)

★7月28日(土) 午後2時~4時
「介護が必要になったらどこに相談する? ケアマネジャーはどうやって選べばいい?」

★10月6日(土) 午後2時~4時
テーマは検討中。1人の専門職の人からじっくり話を聞く等考えています。

【会場】いずれも特別養護老人ホームこぐれの里
練馬区大泉学園町2-26-28
(北園の近く。大泉学園駅から徒歩15分)

当日会場が分からないなどありましたら、かとうぎの携帯電話にご連絡ください。
080-3595-6431



駅でのレポート配布について

かとうき桜子は、月に1回のペースで新しい区政レポートを作成しています。視察など遠出をする場合などに間があくこともありますが基本的に1ヶ月で1めぐりするように、おおむね以下のようなスケジュールで朝の通勤時間帯(7時~8時30分頃)に駅前で配布しています。

- 毎週月曜日: 大泉学園駅北口 (喫煙所の近く、駅正面のドトール前、グランエミオのビルの近く、みずほ銀行の近くの4か所を順番に回っています。月曜日が祝日だったり、月曜日に視察等があり都合がつかないときには曜日を変更する場合があります。)
 - 月2回、火曜日: 大泉学園駅南口(1階ロータリーと2階デッキ)
 - 水曜または木曜のうち月3回: 保谷駅北口と南口(北口正面、線路沿いの道、南口西友前)
 - 月3回、金曜日: 石神井公園駅(中央改札側の駅正面と高架下と、西口改札付近)
- *twitterにて予定を配信しています。(@sakurako_katogi)

かとうき桜子プロフィール

- 1980年生まれ。現在、区議会議員3期目。
- 慶応義塾大学文学部に在学中、ホームヘルパー2級の資格を取得
- 大学卒業後、夜間の上智社会福祉専門学校に入学、社会福祉士取得
- NPOで介護の仕事をする中で、地域福祉・地域社会にさらに深く幅広くかかわる必要性を感じ、2007年区議会議員選挙に初挑戦、当選
- 公立保育園の民営化問題に疑問を感じ、区議の活動のかたわら立教大学大学院・21世紀社会デザイン研究科にて研究。2010年修了
- 2012年、検診で子宮頸がんが見つかり治療。女性の健康へのとりくみの必要性についても政策提言
- 大泉学園町4丁目に猫3匹と夫と住んでいる



介護に関する勉強会で出た話を紹介します。

今まで1月、5月と2回にわたって介護に関する勉強会をしました。今回は、勉強会で話題になったお話をいくつか紹介します。このレポートの最終ページには、今後のご案内を載せてあります。

様々な職種の日々のお仕事

第1回目は、様々な立場で介護のお仕事をしている人からお話を聞きました。

【ケアマネジャー（ケアマネ）】

介護を必要とする人のお話を聞きながら、その人に合った介護サービスを提案して、ケアプランを作ります。プラン作成料は介護保険の中から出るため、利用者は無料。必要なら数名のケアマネから話を聞き、この人は良いな、と思えるケアマネと契約を結ぶことができます。

【福祉用具のレンタル・住宅改修】

要介護認定を受けている人が、介護用ベッドや車いす、杖などのレンタルを一部の自己負担で利用できます。よく利用されるのはベッドです。

また、20万円までを上限として、家の中に手すりをつけたり、和式トイレを洋式化するなどの改修工事を行うことができます。

ユニット型は利用料金が高くなるという課題があります。また、お話ししてくださった方が働いている特養は待機者が300人ということ

ことで、希望しても必ずしも入れないのが現状でもあります。

【薬剤師（居宅療養管理指導）】

薬剤師が家に訪問し、薬の飲み忘れへの対応や飲みづらい薬の改善などをするというものです。混んでいる病院に通っている人が、処方箋を持ち帰り、かかりつけの薬局にFAXして薬は自宅に届けてもらうという方法もあるそうです。

ご参加いただいた方から出たご質問

【Aさんの質問】

介護を必要とする本人と家族が不仲で、意向が異なっている場合、どのような対応をしているのですか？

【デイサービスの人からの答え】

家族はデイサービスに行ってほしいけど、本人は希望しないといったケースもよくあります。対応のしかたは一概には言えませんが、デイサービスだけで「どう対応したらいいかわからない」と抱え込まずに、ケアマネさん

【訪問介護（ヘルパー）】

入浴、排泄の介助、ベッドから車いすへの移乗など、体に触れる必要がある「身体介護」と、調理、洗濯、掃除など家事を行なう「生活援助」があります。本人以外の家族のための家事はできません。大掃除やペットの世話などもできません。

それでは、介護が必要な1人暮らしの方やご夫婦とも高齢で自分で大掃除などをするのが大変なお宅のペットの世話や大掃除、草むしりなどはどうすればいいのか。今は、介護保険制度に位置付けられているものではなく、有償ボランティアなど様々な地域にあるものを活用していきましょうという方向になってきています。そういったものを活用していただく方法も含め、ケアマネジャーさんに相談してみると良いです。

高齢のご夫婦の二人暮らしで、それぞれがヘルパーを利用するというケースもあります。

などとも相談しながら、その人がそうおっしゃる背景に何があるのかを探りながら徐々に関係づくりを進めていきます。

介護サービスを利用するのはご本人なので、ご本人の意思に沿った支援ができるよう心掛けています。

【Bさんの質問】

要介護認定を受けたものの、その結果に納得がいかないという話を時々聞くのですが、それはどういう状況なのでしょう。

【ケアマネさんからの答え】

骨折など怪我をした人が、怪我の改善で要介護度も軽くなるという場合もありますが、ご本人の状態は変わらないのに要介護度は前回よりも軽くなってしまった、ということもあります。

どのくらいの介護サービスを利用できるかは要介護度によって上限が決まっていますので、要介護度が軽くなると、今まで使っていたサービス量が使えなくなってしまうということもあります。その場合は不服申し立てをして再度、納得できる認定を受けられるよう試みることは可能です。

要介護認定を受ける際は、医師の意見書と調査員による聞き取り調査が判断材料となりますので、今、自分はという理由で介護が必要なのか、理由に応じて詳しい医師に意見書を書いてもらうという工夫はしたほうが

【訪問看護】

病院の看護師がやっている仕事を、在宅で暮らす人のために実施するものです。例えば、導尿や経管栄養をしている人の管のケアや入浴の支援、床ずれのケア、終末期のケア、病気の予防のための支援といったことをしています。

【デイサービス】

デイサービスは数も多く、種類も様々です。例えば認知症を専門にしたケアをしているところ、リハビリに重点を置いているところなど。規模も、18人以下の小規模なデイサービスもあれば、40人規模のところもあります。また、どのくらいの時間をデイサービスで過ごすかも、その人に合ったところを決められるので、サービス内容やどんな場所だと心地よく過ごせるかで選ぶことが可能です。今は、要介護認定を受けていない人も利用できるサービスもあります。

【特別養護老人ホーム】

2015年から、基本的に要介護3以上の人が対象となりました。家での生活が困難な方が利用する入所施設です。病院の部屋のよう

に4人部屋といった施設もあるし、部屋は個室で居間のようなスペースのある「ユニット型」というものもあります。

【かとうきよ子】

今まで2回の会では、このように、各職種の方からお話を聞くという形をとりました。今回は、そもそも介護が必要になった時、まずはどこに相談に行けばいいのか、というお話をしたいと考えています。



勉強会の様子。（写真は一部加工しています。）